

## 会 議 録

附属機関又は 会議体の名称		第5回 豊島区観光振興プラン策定委員会
事務局（担当課）		文化観光課
開催日時		令和5年 11月 9日（木） 15時～16時20分
開催場所		区役所本庁舎8階807・808会議室
議 題		1 開 会 2 新 豊島区観光振興プラン 素案について 3 パブリックコメントの実施について 4 その他
公開の 可否	会 議	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開 傍聴人数 1人
	会 議 録	<input checked="" type="checkbox"/> 公開 <input type="checkbox"/> 非公開 <input type="checkbox"/> 一部非公開
出席者	委 員	羽生冬佳委員、近江正典委員、伊藤茂夫委員、東谷彰子委員 官沢のぞみ委員、塩野泰委員、小寺徹委員、三橋和也委員 千野富久委員、田邊紘子委員、秋元志保委員、近藤健二委員 平松恵一郎委員、小池章一委員 <span style="float: right;">計14名</span>
	事 務 局	文化観光課長、文化デザイン課長、生活産業課長 都市計画課長、文化観光課職員4名

# 審 議 経 過

## 1. 開会

(事務局) 本日はお忙しい中、ご出席いただきましてありがとうございます。  
ただいまから、第5回豊島区観光振興プラン策定委員会を始めさせていただきます。  
それでは議事に入る前に、会議の公開についてお諮りいたします。ここでの議論の内容を多くの皆さんに知っていただくために、会議や会議録を公開したいと思います。  
これまでの会議及び会議録についても、公開しておりましたがよろしいでしょうか。  
公開については、個人が特定されないように配慮いたします。

また、傍聴ですが希望者は1名いらっしゃいます。

次に、お手元の資料の確認をお願いします。

参考に、現行プランの冊子も置かせていただいております。こちらは既にお渡ししている  
ので、置いて帰っていただいて構いません。併せて、皆様に確認を依頼しておりました、  
第4回委員会の議事録を配布しています。修正のご連絡を頂いたものは反映させておりま  
す。まだ、ご回答いただけてない方もいらっしゃいますので、ご確認いただきまして、修  
正がありましたら、11月13日(月)までにご連絡ください。個人名は記載しない形で公  
開させていただきます。

それでは、開会にあたり、本委員会の会長よりご挨拶をお願いします。

(会長) 前回の委員会から1カ月半ほど経ち、こちらのプランも大詰めで、今回を経ると  
パブリックコメントが実施されます。このプランに策定に関わった側として、責任を持つ  
立場になります。ぜひ細かいことでもお気づきの点がありましたら、ご発言いただければ  
と思います。よろしくお祈りいたします。

(事務局) ありがとうございます。それでは、当委員会設置要綱第5条4項「会長は会  
務を総理し、委員会を代表する。」とございますことから、議事進行を会長にお願いしたい  
と思います。会長、よろしくお願いします。

(会長) それでは、次第に沿って進めさせていただきます。

次第にあります、「2 新 豊島区観光振興プラン 素案について」を、事務局よりご説明  
をいただき、その後、委員の皆様にご意見を頂きたいと思っております。では、お願いします。

## 2 新 豊島区観光振興プラン 素案について

(事務局) それでは、事務局よりご説明させていただきます。資料2では、事前送付した  
素案をもとに頂いたご意見や、庁内の関係部署からの修正事項等を踏まえて、修正・整理  
しています。また、資料1の素案で赤字になっている部分は、頂いたご意見等を反映させ  
ています。構成について、大きく変更した部分はありません。細かい部分で様々なご指  
摘をいただき、反映している部分が多くなりますので、そちらを中心にご説明します。

資料2の2番目、素案34ページをご覧ください。こちらは、前回の委員会でのご意見も踏

まえてのご質問になります。回答として、目標の説明文に「豊島区にある多彩な文化に、区民はもちろん来街者が期待やワクワク感を持てるよう、区と事業者で連携をして魅力の磨き上げを行います。これにより、区全体が「住みたい・訪れたい」まちになり、消費活動も促されることで、持続可能な都市を実現する」と記載しています。「住みたい・訪れたい」まちを作っていくことによって、多くの人々を惹きつけていくという、まさに「観光は街づくり」の観点を踏まえた、観光振興プランの構成となっています。

3番目、戦略2として「人が主役のまちづくり」を謳っています。目標の「誰もがときめく都市」の記載が、区民も来街者もあるいは、高齢者も子どもも障害者も外国人も豊島区を訪れた誰もが主役となって、多様な人々にやさしいまちを実現することを表しています。目標が包含する意味を、「多様な人々が主役となって輝く人にやさしい」と説明文に追記することで、補足しています。

4番目、SDGs 未来都市の推進は、当然の前提となっていることから、目標のサブタイトル「～オールとしまで推進する持続可能な都市の実現～」及び戦略2で頭出ししていた「SDGs 未来都市」は削除しています。また、目標の説明文において「持続可能な都市を実現」する旨記載しています。住民としての住みやすさ、旅行者としての旅のしやすさについては、目標が実現したあるべき姿である基本方針3「住みたい・訪れたい」まちの実現に含むような構成としています。

5番目では、今回のプランでは“国際アート・カルチャー”という文言を記載していないので、これに合わせて“アート・カルチャー”を“文化によるまちづくり”に統一させていただきました。

6番目では、花と緑の魅力について記載したのですが、令和5年4月に改定した「豊島区みどりの基本計画」に基づき、みどりの将来像を踏まえた記載に変更しています。

8番目では、カタカナ表記の語句については、コラムに用語説明を追記しています。

15番目、素案P44では、「稼げる地域」の補足説明をする文言に、修正させていただいております。

16番目、素案P45 施策の方向性②「多様な来街者への発災時の対応強化」で、所管の防災危機管理課により、具体的な内容に修正しています。

19番目、素案P49 施策の方向性①「観光産業の経営力基盤強化」を、「観光産業の経営基盤強化」として、わかりやすく説明文を修正しています。

20番目、施策の方向性②「観光産業の担い手育成」では、具体例を交えた説明文に修正しています。

21番目、素案P50 施策の方向性①「ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供」で、こちらについては、素案に修正漏れがございましたが、資料2の通り修正させていただきます。このような形で、委員の方から事前に頂いたご意見や、庁内の所管の意見を踏まえて、素案を修正させていただいております。

また、本日委員の皆様から、ご意見を頂戴できればと思っております。

(会長) 前回、ご指摘いただいていたインバウンドについては、どうでしょうか。

(事務局) インバウンドの具体的な記載が 5 ヶ所ありますので、ご説明させていただきます。素案 P34 基本方針 2「稼げる」地域経営の実現で、インバウンド向けと国内旅行者向けに書かせていただいております。

二つ目は、P45 施策 5 施策の方向性②「多様な来街者への発災時対応強化」で、外国人を含む来街者に向けて、多言語での防災情報について記載しています。

三つ目は、P46 施策 1 の説明にインバウンドに向けた施策の展開を記載しています。

四つ目は、P48 施策 1 施策の方向性③「民間企業と連携した観光施策の展開」に、インバウンドに向けた施策の具体的な内容を記載しています。

最後に、P50 施策 3 の説明及び施策の方向性③「おもてなし環境の整備強化」に、具体的な環境整備の内容を記載しています。

(会長) ありがとうございます。ただいま、事務局からご説明いただいた素案の内容について、ご発言をお願いします。

(委員) インバウンドについて気になっていましたが、ご配慮いただきありがとうございます。パブリックコメントがこれから実施されますが、地域の方が暮らしやすいということにも十分配慮されていると思いました。前回から発展した持続可能な部分は、具体的にわかりやすくなったと感じていますので、良いのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。次の方、お願いします。

(委員) 住民の方々を大切にしているということがわかりやすく、またそれがあってこそその観光であるということが、表現されていると感じています。区民と観光客が共に楽しめる形を作っていくことが、大事だと思っているので、それがきちんと表現されていると感じました。

(会長) ありがとうございます。次の方、お願いします。

(委員) 非常にわかりやすくまとまっていると感じました。区民に寄り添うという点でいうと、P36 戦略 2 施策 5「安全・安心なまちづくりの推進」にも、区民の方を含むような表現をしてはどうかと思いました。安全・安心の確保は、来街者に対してはもちろん、区民も含まれているということの表記があることで、一緒に進めていくことのできる実行性の高いプランになると思いました。

また、P37 では、戦略 3 施策 2 施策の方向性②「データ分析による効果的・効率的な観光施策の展開」では、データ分析のみに頼るような印象を受けるので、「データ分析に基づく」として、可能性の一つとして捉えられるような表現でも良いかと思いました。ただ、これ以外の表現が「～による」となっているので、ご検討いただければと思います。

(会長) ありがとうございます。重要なお指摘ですので、ご検討いただければと思います。次の方、お願いします。

(委員) 私も P36 の施策の体系のところ、最初に出てくる、“多彩な文化・国際文化都市”の部分に思いがあります。今までは、“国際アート・カルチャー都市”ということで、

アートの要素が強く、私自身はアートに疎い部分があり、よく理解できないところもありました。今回はそれが外れて、“多彩な文化・文化都市”としたことで、豊島区はマンガ・アニメがメインとして世界から認知されている部分はありますが、これが全てと定義付けせず、各事業者、個人、団体が発信するものを理解して、何かあれば一緒に協調していくことができれば良いと思いました。そしてこれが、今のコロナ明けの状況を含めてなじんでいると感じており、またこのプランを引っ張っていくという印象を受けましたので、非常に良かったと思っています。

(会長) ありがとうございます。次の方、お願いします。

(委員) 前回の委員会でも申し上げましたが、これまでのプランから本当に中身が変わったと感じています。そのような意味では、前回も話したと思うのですが、やはり池袋自体が激動しているところもあって、変わってきているのだろうと思います。今後、見直しは5年後としていますが、この1年は激動の年になると思いますし、インバウンドが強調されていますけれども、為替のことで本当にこれがいつまで続くのかということ、インバウンドを大事にしすぎると地元の人がお金を使わなくなってくることもあるので、その辺も踏まえて、私自身もこのプランを見て行きたいと思っています。

プラン策定後に、5年間でどう進めていくのかということ、事務局でしっかり見ていただきたいと思っています。最後に、今ご説明いただいた中で少し気になるのが、“量より質”という点です。どの自治体でも質を上げ高付加価値とおっしゃるのですが、池袋における質とは何を意図しているのかということを考える必要があると思います。素案では、単に通過するだけ、来てくれるだけではなくて、買い物をしてもらえることというふうに書いてありました。買い物してくれれば良いお客様なのか、上質なお客様、いわゆる富裕層に来て欲しいのかと、いろいろ捉え方があると思います。個人的には、池袋は上質で富裕層が来ておしゃれな街というよりは、庶民のまちというイメージがしています。ここは最終的に、観光客や住民の方が選んでいくところだと思います。質と言い過ぎると、人によって捉え方が違うと思いますので、丁寧に説明する必要があると思います。

(会長) ありがとうございます。こちらは大変重要なご指摘ですので、ご検討をお願いします。では、次の方、お願いします。

(委員) プランを見させていただいて、順序立てて書かれていて、非常にわかりやすいと思いました。その中でも、英語の表現もきちんとコラムに落とし込まれていて、これなら私でもわかるので、誰が見てもわかる計画になっていると思います。

プランが出来上がった後に、これを具体的にどうやって落とし込むか、誰がどのようにやるかということが重要だと思います。この辺は徐々にやっていけば良いのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。これまで、2名の方から意見が出ました進捗管理ですが、記載はありますが、次回委員会で具体化できればと思います。では、次の方お願いします。

(委員) 別の会議での話で、中小企業の借入の申入れがあったのですが、飲食業が多く、

需要が変わってきているようです。コロナ禍を経て変容してきたものと捉えています、観光の面でもインバウンドも変わってきているようです。それに対して、このプランはこれからの5年を柔軟に対応できていると思います。特に、住民に配慮されていて、一緒にまちづくりをして、それが評価されて観光になっていくということが書かれていて、非常に良いと思いました。

また、“みどり”という表現も出ており、美しい街づくりという点で、オーバーツーリズムの懸念もありますが、細かいことにも目を配られており、素晴らしいと思います。

(会長) ありがとうございます。では、次の方をお願いします。

(委員) 素案を拝見いたしまして、今豊島区が置かれている観光の現状や課題となっているところが、端的にまとめられていて、とても分かりやすくなっているのではないかと思います。観光では、区民や来街者が安心・安全に楽しめる環境が大事になるので、防災面を意識して対策が取られていると感じました。

P12の表で、施設一覧となっていますが、施設以外のものも入っているようなので、区分ごとに分けて記載するなどした方が、わかりやすいのではないかと思います。

(会長) ありがとうございます。ご指摘いただいた箇所は、キャプションを修正した方が良いかと思いますので、後ほど相談したいと思います。では、次の方をお願いします。

(委員) 以前のプランと比べても、区民目線・住民目線になっていて、とても良かったなと感じています。また、語句の説明が入って、よりわかりやすくなったと思います。今後、施策に基づいて取組みが行われ、豊島区がどう変わっていくのかが、非常に楽しみになりました。

(会長) ありがとうございます。では、次の方をお願いします。

(委員) 目標について、意見を出させてもらっていましたが、目標の説明に“人にやさしい”という文言が入り、大変良かったと思います。また、語句の説明の言葉が入ったことによって、わかりやすくなったと思います。一点、P48の伝統工芸の写真が、伝統工芸展の写真が使われていますが、豊島区の伝統工芸品がわかるようなものにした方が良いのではと思いました。

(会長) おっしゃる通りだと思います。ありがとうございます。では、次の方、お願いします。

(委員) 事前にカタカナ表記について、意見を出させていただいていましたが、説明を入れていただけたので、わかりやすくなったかと思います。そのために、写真などを削ることになってしまったので、例えば、ユニバーサルデザインの食品表示の図ですとかは、どこかに出しても良いのではと思いました。説明を入れてわかりやすくなりましたが、そもそも説明しなくてもわかるように日本語で表記しても良いのではと、個人的には思いますが、全体を通してよくまとまっていると思います。

(会長) ありがとうございます。国が使用しているものもあるので、どうしても使わざるを得ないものもありますが、おっしゃる通り横文字ではなく日本語で分かりやすく表記す

ることも必要だと思います。今回、国として取り組んでいるものなどに関しては、そのまま進めさせていただければと思います。ただ、ユニバーサルツーリズムとアクセシブルツーリズムを併記しているのは、検討させていただければと思います。では、次の方をお願いします。

(委員) 役所が作るものなので、真面目になるのは仕方ないですが、正直、あまり面白くないという印象はあります。しかしながら、皆様のおっしゃる通り、語句の解説もあり、柔らかくなって大変わかりやすく、良いプランになったと思います。

ただ、読んでいて面白さが感じられないのが、残念です。豊島区はとても面白いまちで、それが、住民にも楽しいまちになり、来街者にも行ってみたいまちになると思っています。それを、もっとプランに出せると良いと感じました。

(会長) ありがとうございます。ご指摘いただいた内容ですが、入れるとすると現状の部分かと思います。現時点では、今おっしゃっていただいたような、豊島区は面白いまちだということがわかるような表現はされてないと思います。

(委員) 例えば、先日あったハロウィンコスプレフェスの写真を大々的に使って、区長もコスプレをするような、豊島区は面白いまちということ、表現するのも良いと思います。ハロウィンコスプレで言えば、豊島区は14万人が参加したとのことですが、うまくコントロールをして混乱なく終えることができている。これはすごいことで、この仕組みを持っていて、きちんと成果があるということ、もっと表に出して活用できると良いのではないかと思います。ハロウィンコスプレ以外にも、ふくろ祭り（よさこい）も西口駅前の大通りを封鎖してイベントを行っていて、このようなイベントを行えるのは豊島区だけだと思います。

(会長) 区のプランなので、どこまで書けるかはわかりませんが、豊島区が多様性もあり、エキサイティングなまちであることは、表現できればと思います。

(委員) よさこいは複数の会場で行っていると思いますが、それぞれの会場でスタッフも配置され整然と整理していたので、すごいと感じました。なかなかこのようなまちはないと思います。

(会長) 今、おっしゃっていただいたお話は、明記はされていませんが、“オールとしま”という区民も来街者も楽しむという視点に立ったものかと思います。今あったのは運営の部分で、区民の皆様の方で、大規模なことが何のトラブルもなく、行われているということだと思います。このあたりは、区民の力を十分引き出して住民・来街者ともに楽しめるようなイベント、まちの活動を行っているということ、記載できると良いかと思っています。

(委員) 具体的な事象を書くのは難しいと思いますが、実際は具体的な事象を書いた方がわかりやすいと思います。先日、大塚で商人祭りが行われて1万5000人来場されたそうです。今年は何に注意したかという、昨年の反省から、集まった人達が点字ブロックを塞がないようにすることや、配慮の必要な人には、コンシェルジュがついてサポートをし

たとのことです。1万人以上が集まるイベントでは、何が起こるか分からないので、できる限りの対処が必要です。また、以前は具合の悪い人が出ると救急車を呼んでいたのが、今回は豊島消防署に協力を依頼して、救急隊員を配備したことで、騒ぎにもならずすぐに手当てができたと言っていました。そして、救護テントには従来のパイプ椅子だけでなく、ベッドを用意することや、その他地域での商人祭りで救護用テントを配置できるように検討していこうとなったようです。安心・安全を確保することはとても大変なことだということ伺いました。

安全と安心の概念は違って、安全は施設によって担保されていて、例えば目が不自由な人がホームから落ちないようにするには、ホームにドアを付けてガードすれば良くなります。安心というのは、人間と人間の関係の中で作られていく心の問題なので、どんなに施設が充実していても、それを使っている人の心がちゃんとしてないと安心にならず、電車が来る前に誰かがぱっとドアを開けてしまっただけでは意味がなく、それがきちんと運用されているというのは、人間の心の問題ということです。安心の担保と、安全の担保が全然違うということをいつも言っています。先ほど、お話しした商人祭りの事例は、安心の部分になると思います。安心な人がいて、安心なまちであるということ、具体的な活動を通して紹介できないかなと思っています。

(会長) ありがとうございます。安心と安全の概念が違うというのは、おっしゃっていただいた通りだと思います。P45に安全・安心なまちづくりと記載していますが、ここで安全・安心の意味合いが違うということ、意識して書き加えることは可能かと思っています。

また、まちの賑わい活性化を区民が担い手として支えているという点は、安心にも関わりますが、戦略2施策4施策の方向性②に「観光の担い手」という記載があります。内容は外国語通訳ガイドについてですが、ここにイベントの際に、区民の力によって秩序だった整然とした運営に役立っており、人が集まる機会を担保していて、これらをよりサポート・育成していくと記載することも検討しても良いと思います。また、事務局と相談をさせていただきたいと思います。では、次の方、お願いします。

(委員) 前回の委員会が9月末にあり、骨子案を出して、それから急ピッチでこの素案という形で文章にしまして、各委員の皆様にはこの短時間の間に非常に積極的に読み込んでいただき、多角的なご意見を頂きました。今日、皆様方から概ねわかりやすい表現になっている、住民に寄り添ったプランになっているというような評価をいただいて、事務局としても非常に安堵しているところです。一方で面白くない印象というご意見もありました。これは計画なので、あまり砕くことができませんが、概要版を作成するときに、もう少し目に止まりやすいような見せ方や、文字ではなくてビジュアルで見せて、興味を持ってもらった方に本編を熟読してもらうような、出し方の工夫は今後会長と検討したいと思います。

先ほどご指摘にあった“量より質”という、ハイクオリティ、ハイセンスというイ



メージを想起しかねませんが、豊島区は相対的に、庶民的なところが魅力でもあります。例えば、P46に「Tokyo Local Ikebukuro」と表現し、東京の日常を象徴するまちとして、質とは言いながらも、日常的なものや、地域の皆様方に頑張ってもらって、先ほどご紹介いただいたような様々なイベントを、体験できるまちであることを発信していきたいと思えます。また、これらを区民の方に知ってもらって、誇りを持っていただき、このような会議や様々な場所で、「よさこいってこんなにすごいんだよ」「ハロウィンコスプレで14万人来ていて、安全・安心にやっているんだよ」というようなことを、皆さんの口からそれぞれ発信してもらって、人に伝えていくようなことも取り組めるようにしていきたいと思えます。

プランは5年の計画期間になっていますが、日々刻々と変化しますので、そちら実行面での担保については、P6の位置づけに記載がありますが、この観光プランの下に、区の基本計画に基づく実施計画として、未来戦略推進プランという3か年の計画を、毎年予算の紐づけをしながらローリングして改定しています。時期に合わせたような軌道修正は、柔軟にやっていくというところで、しっかりとこの計画に基づいたものを実行していきたいと考えております。

最後に長くなってしましますが、P54のところ、この計画を誰がどう実行するのかということですが、区が作るのだから基本的には区が主導でやっていくこととなります。当然、その中には、豊島区の役割、観光協会の役割、あるいは企業・団体を含めた民間の役割、区民の役割があります。これらを踏まえて、右のページでPDCAサイクルをしっかりと回して、進捗管理を行っていきたくて考えています。

(会長) ありがとうございます。皆様からは、お褒めいただいた内容が多かったですが、いくつか気になるご指摘を頂きましたので、事務局と相談しつつ修正を加えられればと思っています。先ほどからお話に出ている、“質”の話では、高質・高品質に読めちゃうと、趣旨が変わってきちゃうので、“量と質”が、単なる高質ではなく、量ではなく中身を見て行くということが読み取れるように、記載できると良いと思いました。

これまでのご説明で細かい部分になりますが、気になるところがありましたので、ここで指摘させていただきます。インバウンドの記載は、分散して書いてありますということでしたが、表現があえて意図しているのであれば良いのですが、「インバウンド」、「外国人観光客」とあるので、用語の統一をしても良いと思えます。

(委員) 今後、表記揺れの校正はされますか？

(事務局) ありがとうございます。ご指摘頂いた以外にも民間、民間企業、民間事業者といった表記ゆれがあるので、これから対応します。

(委員) 「取組」は送り仮名でり・みがあるものとないもの、「まち」もひらがなと漢字のもの、「祭り」も“お”がついているものとないものがあるので、統一した方が良いと思えます。P51のキャプションの“Timeout”はカタカナ表記にしてほしいです。

(会長) ありがとうございます。表記ゆれについてのご指摘でしたので、事務局で対応を

お願いします。資料2で15番目のご指摘で、素案P44で③「地域住民と来街者との間に生じる問題を最小限にし」の前に「マナーなどの」と記載されていますが、池袋周辺ですと、渋滞や混雑の影響も考えられますので、マナーだけに限らない方が良いと思います。

20番目、素案P49②観光産業の担い手育成で、「民間企業と協力して、区の観光情報の周知を定期的に行うなど」とありますが、担い手育成には関係ないのではと思いますので、再度検討をお願いします。働き手にとって魅力ある仕事を周知するのであれば良いと思います。最後に、21番目で施策の方向性①「ニーズに対応した多様な宿泊施設の提供」の説明文の修正についてですが、「事業者と連携してサービスの高付加価値化及び」という文言が削除されてしまいました。やはり宿泊施設と連携をし、多様な来街者から求められるサービスを提供するといったことは、記載しても良いのではないかと思います。

最後には、重要な表記ゆれのご指摘も頂きましたので、パブリックコメントまでに確認をして、区民の方にとって見やすいように修正していただければと思います。

また、概要版については、もう少し面白さを感じられるようなものの作成をご検討いただければと思います。

(委員)「量よりも質を重視した高付加価値施策の展開」で、量のことを考えずに質が上がるのかという疑問があります。量と質はともに上がっていかなくてはならないもので、量のことを考えず質だけを重視していると、質は落ちていくと思います。「質を重視した」という言い方で、より質を重視するというようにした方が良いと思いました。

(会長)これは、これまで量を重視してきたという経緯を踏まえて、反省の意図もあるのかと思います。おっしゃる通り、量がなくてもよいというものではないと思います。

(委員)量が揃ってきて、質が取れると思います。

(会長)ありがとうございます。その他に、素案に対するご意見はありますか。

(委員)先ほどの説明で、プランと実行計画が連動するとありました。プランの中で、民間事業者の連携と出てきていますが、民間事業者に何をしてほしいのかということが、多くの場合、行政から発信されていないように思います。民間は自身のやりたいことを行い、自分たちのビジネスが良くなることを考えているので、豊島区がどうなるかという視点は持っていないことが、ほとんどだと思います。その中で官民連携というのであれば、実行計画の中で、豊島区としては民間事業者にこの部分で知恵を貸してほしい、ビジネスをしてほしいなど、何をどうしてほしいかということ、わかりやすく入れていただけると良いと思います。

(会長)ありがとうございます。では、次の議題を進めさせていただきます。次第にあります「3 パブリックコメントの実施について」を、事務局よりご説明いただきます。

### 3 パブリックコメントの実施について

(事務局)ありがとうございます。これまで頂きました、ご意見・ご指摘を含めて整理をしたうえで、パブリックコメントに臨みたいと思います。

パブリックコメントは、12月15日から来年の1月15日までの1カ月を予定しております。広報としまの12月21日号、区のホームページで掲載し周知をしていきます。閲覧できる場所は区役所の内の行政情報コーナー、区民事務所、各区民ひろば、各図書館、文化観光課、区のホームページを予定しています。意見の提出は、直接持参、郵送、FAX、Eメールで受け付けます。意見を踏まえて、具体的にどのように反映するかは検討させていただきます。また改めて、委員の皆さんには送付させていただきたいと思っております。

第6回の策定委員会は、2月19日に実施する予定です。時間は決まり次第、また改めてご連絡したいと思います。パブリックコメントを踏まえて改定をしたプランを、区長へ答申する流れとなっております。

最終的な結果の公表につきましては、3月21日号の広報としま、区のホームページでも掲載予定となっております。

(会長) ありがとうございます。ただいまのパブリックコメントの実施について説明について、ご質問はありますでしょうか。続きまして、次第にあります「4 その他」について事務局よりご説明をお願いします。

#### 4 その他

(事務局) その他、発言できなかったことや、お気づき点等ございましたら、11月16日(木)までに、事務局の方へお寄せいただければと思います。また、先ほど申し上げました通り、次回の策定委員会については2月19日(月)に、本庁舎5階の507・508会議室での開催を予定しております。時間については改めてご連絡いたします。よろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。最後に、皆様から何かご発言はございますでしょうか。これまでに多種多様なご指摘を頂きましたので、それをお聞きいただいたうえで、こういうところも直した方がよいということがありましたら、事務局からご説明のありました通り、11月16日までに寄せいただければと思います。

今回はパブリックコメントを踏まえて、最終のプランを皆様でまたご議論をできればと思っております。以上で、本日予定しておりました議事は終了いたしました。他に協議をしておきたい事項はございますでしょうか。特になければ、最後に事務局からの周知事項をお願いします。

(事務局) ありがとうございます。次回の委員会が最後になりますので、よろしく願いいたします。

(会長) ありがとうございます。それではこれで閉会とさせていただきます。

提出された資料等	<p>【 資 料 】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・資料1 新 豊島区観光振興プラン 素案</li><li>・資料2 10月23日時点でお送りした素案に対するご意見等を踏まえた対応状況について</li><li>・資料3 パブリックコメントの実施について</li></ul> <p>【 参考資料 】</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・参考資料1 令和4～5年度審議スケジュール（案）【更新版】</li></ul>
----------	---